

製品安全データシート

整理番号 nagasakibb-1

作成 2017年8月

1. 製品及び会社情報

製品名	スーパー化成444
会社名	全国農業協同組合連合会 肥料農薬部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
TEL	03-6271-8285
FAX	03-5218-2536
E-mail	zz_hivaku-gizyutsu@zennoh.or.jp

推奨用途及び使用上の制限 肥料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	酸化性固体	区分外
	金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒素(吸入)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
目に対する重篤な損傷/目刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に感ずる有害性

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ
皮膚刺激
重篤な目への刺激
血液の障害のおそれ
呼吸器への刺激性のおそれ

注意書き

【安全対策】

熱から遠ざけること。
保護眼鏡、保護手袋を着用すること。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
粉じんを吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。

【救急処置】

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
目に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は医師の診断を受けること。

【保管】

容器を密閉して保管すること。
可燃物から離して保管すること。

【廃棄】

製品又はフレコンを廃棄する場合は、
国及び自治体の規則に従うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物

主成分	含有量 (%)	化学式	官庁公示 整理番号 (化審法・安衛法)	CAS	No.
硫酸アンモニウム	40-50	(NH ₄) ₂ SO ₄	1-400	7783-20-2	
リン酸ニアンモニウム	20-30	(NH ₄) ₂ HPO ₄	1-379	7783-28-0	
塩化カリウム	20-30	KCl	1-228	7447-40-7	
シリカヒューム	10以下	SiO ₂	-	7631-86-9	
鉱油	1以下	-	-	-	

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

シリカ 約1%
鉱油 約0.1%

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
なし

<p>4. 応急措置</p> <p>吸入した場合</p> <p>目に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p>	<p>分解ガスや粉じんの場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。 水で洗い流す。</p> <p>1. 直ちに多量の清水で洗眼する。 2. 必要に応じて医師の診断を受ける。 意識がある時には、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤</p> <p>火災時の危険有害性</p> <p>特定の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>多量の水</p> <p>加熱されると有害ガス(アンモニアガス等)を発生する。 本製品は不燃性であるが加熱されると有害ガスを発生するので、保管場所を移動する。 移動が困難な場合は、多量の水を注水する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 状況に応じて呼吸保護具を着用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>除去方法</p>	<p>屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。 排水溝へ流さない。 掃き集めて回収する。</p>
<p>7. 取り扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱</p> <p>保管</p> <p>適切な保管条件</p> <p>安全な容器包装材料</p>	<p>1. 必要に応じて適切な保護具を着用し、取り扱い後は顔、手、口等を水洗いする。 2. 強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。 3. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒することがあるので、掃除する。 4. 容器は破損につながらないように丁寧に取り扱う。</p> <p>1. 開封のまま長期間放置すると吸湿して固結の原因になるので、開封後は密封して保管する。 2. 直射日光は避け、高温・多湿下での保管は避ける。 3. 可燃性物質との近接は避ける。 ポリエチレン、ポリプロピレン</p>
<p>8. 暴露防止及び保護措置</p> <p>設備対策</p> <p>管理濃度</p> <p>許容濃度</p> <p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>目の保護具</p> <p>皮膚・身体の保護具</p>	<p>発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。 設定なし 日本産業衛生学会、ACGIH共に本品の設定はないが、粉塵対策として、下記の値を推奨する。 日本産業衛生学会勧告値(1994年)第3種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m³ 総粉塵 8 mg/m³</p> <p>防塵マスク ゴム手袋 ゴーグル型眼鏡</p>

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	固体
形状	粒状
色	灰白色
臭い	データなし
pH	データなし
物理的状态が変化する温度	
沸点	データなし
融点	データなし
引火点	データなし
発火点	データなし
爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
かさ比重	約1.0
溶解性(水)	水に易溶
分解温度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	加熱するとアンモニアガス等の有害ガスを発生する。
反応性	特になし。
避けるべき条件	高温・多湿
混触危険物質	可燃性物質
危険有害な分解生成物	アンモニアガス、窒素酸化物等

11 有害性情報

急性毒性(経口)	区分外 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <リン酸ニアンモニウム> ラットLD50値: 6.500g/Kg <塩化カリウム> ラットLD50値: 2.600g/Kg (IPCS 1992) <硫酸アンモニウム> ラットLD50値: 4.250g/Kg (SIDS 2004) 以上のデータに基づき区分外とした。
急性毒性(経皮)	分類出来ない データなし
急性毒性(吸入)	分類出来ない データなし
皮膚腐食性/刺激性	分類出来ない データなし
目に対する重篤な損傷/ 区分2B	
目刺激性	構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <塩化カリウム> ウサギ500mg/24H 軽度(RTECS)ウサギの眼刺激試験で、適用24時間後の観察で、"mild reaction"と評価されている(JETOC推定)ことから、区分2Bとした。
呼吸器感作性	分類できない データなし
皮膚感作性	分類できない データなし
生殖細胞変異原性	分類できない データなし
発がん性	分類できない データなし

生殖毒性	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない	データなし
吸引性呼吸器有害性	分類できない	データなし
環境に対する有害性 水生環境急性有害性	分類できない	データなし
水生環境慢性有害性	分類できない	データなし

12 環境影響情報

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

13 排気上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない(不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する。)

14 輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	下記の法令に基づく規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、港則法
郵送の特定の安全 対策及び条件	1. 雨水等による水漏れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

15 適用法令

肥料取締法	登録肥料
消防法	該当しない
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

16 その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて制作しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は、通常の手配を対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

本SDSは、下記くみあい肥料株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください

会社名	くみあい肥料株式会社
住所	長崎県諫早市栄田町8番23号
電話番号	0957-26-3122
緊急連絡先	0957-26-3122
FAX番号	0957-26-4290